

魚津市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査の進捗状況について

11月16日～26日（郵送対象者は12月4日まで）に実施した「魚津市の子ども・子育てに関するアンケート調査」は、11月1日現在住所登録のある未就園児の保護者、市内の保育園、認定こども園、幼稚園に通う園児の保護者、市内小学校に通う児童の保護者、市内中学校に通う中学生本人を対象に行いました。

回収結果は以下のとおりです。（1月末時点）

対象者	配布数	回数数	回収率
市内就園児保護者	1,436	1,213	84%
未就園児保護者(郵送)	402	215	53%
小学生保護者	1,861	1,670	90%
中学生本人	1,085	1,041	96%
全体	4,784	4,139	87%

現在、アンケート調査の集計をすすめているところです。全体の集計が終わり次第、詳細な集計結果をお伝えしたいと考えております。現時点で、アンケート項目に対する回答の特徴は以下のとおりです。

○未就学児保護者

問5 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

- ・父母ともに行っていると答える人が多いが、主に母親と答える人が次に多い。

問6 お子さんとの同居・近居の状況についてお答えください。（近居はおおむね30分以内程度に行き来できる範囲）

- ・祖父母が同居もしくは近居している世帯が多い。

問7 子育てに、もっとも影響すると思われる環境は何だと思えますか。

- ・家庭と答える人が多数。

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

- ・祖父母等親族にみてもらえる人が多い。

問9 子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。

- ・相談する相手はいる。

問9-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

- ・祖父母等親族
- ・友人や知人
- ・保育士

問 10 保護者の現在の就労状況をうかがいます。

- ・父親：ほとんどがフルタイムで就労
- ・母親：全体では、パート・アルバイト等をしている人とフルタイムで就労している人が同程度でもっとも多い。
未就園児の保護者だけで見ると、フルタイムで就労しているが産休育休中の人が多く、次に、以前は就労していたが現在就労していない人が多い。

問 10-2 問 10 で就労しているに回答した方にうかがいます。

- (1) 1 週当たりの就労日数、1 日当たりの就労時間（残業時間含む）をお答えください。
 - ・全体的に週 5 日程度の就労をしている人が多数。
 - ・パート・アルバイト等であっても、1 週当たりの就労日数は 5 日が多い。
 - ・1 日当たり就労時間については、父親は 8～12 時間程度の就労時間が多く、母親は 4～9 時間程度の就労が多い。
- (2) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 - ・父親：6～8 時台に出発し、17～23 時台の帰宅
 - ・母親：7～9 時台に出発し、15～18 時台に帰宅

問 10-3 パート・アルバイト等で就労している方に伺います。フルタイムへの転換希望はありますか。

- ・パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している人がもっとも多い
- ・次に、フルタイムへの転換希望があるが実現できる見込みがない人

問 10-4 就労していない方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。

- ・子どもがある程度の年齢になったら働きたいと思っている人が多い。
(年齢は、未就園児保護者は 3 歳が多く、就園児保護者は 7 歳)
- ・未就園児保護者については、すぐにでも就労を希望する人はいるがほとんどがパート希望

問 11 お子さんは現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されていますか。

問 11-1

- (1) お子さんは、年間を通じて定期的に、平日どのような施設やサービスを利用していますか。
 - ・市内の幼稚園や保育園、認定こども園に通わせている保護者が多数。
 - ・事業所内保育所や認可外保育所はほとんどいない。
- (2) どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
 - ・週 5 日利用が多数。
 - ・利用日数や時間で、現実と理想の差はあまり見られない。
- (3) 幼稚園や保育所、認定こども園を利用されている理由を教えてください。
 - ・就労と子どもの教育や発達を理由にする人がほとんど。

問 11-2 問 11 で利用していないと回答された方は、利用していない理由をお答えください。

- ・子どもが一定の年齢に達したら預けたいと考えている人が多い。
(年齢は 1 歳、3 歳、2 歳の順に多い)
- ・父母や祖父母が面倒をみるため、必要ないと考える人が次に多い。

問 12

(1) 現在利用している、利用していないにかかわらず、平日定期的に利用したいと考える事業をお答えください。

- ・認可保育所
- ・認定こども園

(2) お子さんがいくつになったら、事業を利用したいと考えていますか。すでに利用されている方は、利用しはじめた年齢をお答えください。

- ・1歳からの利用を望む人が多数。
- ・市内就園児保護者でも、1歳からの利用が多い。

問 12-1 特に幼稚園の利用を強く希望しますか。

- ・希望者は少ない。

問 13 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

- ・市内就園児は利用したことがある人が少ない。
- ・未就園児では、月1回、週1回の利用者が多い。

問 14 地域子育て支援拠点事業について、今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。

- ・利用したことがある人も、利用したことがない人も月1回、週1回の利用を望んでいる。
- ・就園児で利用を考える人は少ないが、利用希望がある人は月1回の利用を希望する人が多い。

問 15 各事業のA知っている、Bこれまでに利用したことがある、C今後利用したい、をそれぞれお答えください。

①安産マタニティヨガでりらくす（健康センター）

- ・知っている人は少なく、利用したことがある人も少ない。

②妊婦さんの集い（健康センター）

- ・知っている人は多いが、利用したことがある人は少ない。

③パパとママの育児教室（健康センター）

- ・知っている人は多いが、利用したことがある人は少ない。

④産後ケア事業（健康センター）

- ・知っている人と知らない人は同数。利用したことがある人は少ない。

⑤養育支援訪問（健康センター）

- ・知っている人と知らない人は同数。利用したことがある人は少ない。

(①～⑤の事業については、「出産の予定はないので利用しないが、利用したかった」の声多数)

⑥子育て支援センターのびのび（健康センター）

- ・知っている人は多く、利用したことがある人も多い。

⑦子育て支援センターにここ（かづみ認定こども園）

- ・知っている人は多いが、利用したことがある人は少ない。

⑧保育所や幼稚園の育児サロン

- ・知っている人は多く、利用したことがある人は半々。

⑨児童センターの親子教室

- ・知っている人は多いが、利用したことがある人は少ない。

- ⑩地区の社協や公民館の子育てサロン
・知っている人は知らない人より少ない。利用したことがある人は少ない。
- ⑪保育所の一時的預かり
・知っている人が多数。
- ⑫家庭教育に関する学級・講座（教育委員会・PTA等主催）
・知らない人が多く、利用したことがある人は少ない。
- ⑬教育センターの教育相談窓口
・知っている人、利用したことがある人は少ない。
- ⑭市の家庭児童相談窓口
・知っている人と知らない人は半々。利用したことがある人は少ない。
- ⑮市の子育て支援コーディネーター相談窓口
・知っている人、利用したことがある人は少ない。
- ⑯にこにこ相談会
・知っている人、利用したことがある人は少ない。
- ⑰市発行の子育て支援情報誌・ホームページ・育ナビうおづ
・知っている人と知らない人は半々。利用したことがある人は少ない。
- ⑱ファミリー・サポート・センター
・知っている人と知らない人は半々。利用したことがある人は少ない。
- ⑲キッズベアー
・知っている人は多いが、利用したことがある人は少ない。
- ⑳キッズベアーの送迎対応
・知っている人は多いが、利用したことがある人は少ない。

問 16 土日、祝日等に幼稚園や保育所、認定こども園を利用したいと思いませんか。

- ・利用する必要がない人多数。
- (1) 土曜日
・利用したい人は、月 1～2 回、8～9 時から 17～18 時の利用希望。
- (2) 日曜・祝日
・利用したい人は、月 1～2 回、8～9 時から 17～18 時の利用希望。
- (3) お盆
・利用したい人は、普段利用している園で、8～9 時から 16～18 時の利用希望。
- (4) 年末年始
・利用したい人は、普段利用している園で、7～9 時から 16～18 時の利用希望。

問 17 幼稚園を利用されている方にうかがいます。長期休暇期間中の利用を希望しますか。

- ・利用希望者はほとんどいないが、利用希望する人は週に数回、9 時から 14～15 時の利用希望。

《就園児回答》

問 18 お子さんが病気やけがのとき、行った対処方法は何ですか。

- ・親や家族が家でみたがもっとも多い。

問 18-1 病児保育を利用しなかった理由は何ですか。

- ・必要なかったと利用しなくなかったが同数

- ・利用しなくなかった理由は『子どもが不安がる』、『利用料がかかる』の順に多い。

《未就園児回答》

問 19 保護者の用事により、不定期に利用しているサービスはありますか。

- ・利用していない人が多数。一時預かりは、ある程度利用あり。

問 19-1 利用していない理由は何ですか。

- ・利用する必要がない。
- ・手続き方法が分からない、利用料がかかるが同数

問 20 どのような理由で、一時預かり保育やファミリー・サポート・センターなどのサービスを利用する必要があると思いますか。

- ・利用希望が多数。利用目的は、項目すべてが同数。

《5歳の子をもつ保護者回答》

問 21 お子さんが小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後をどのような場所で過ごさせたいですか。

- ・学童利用希望者がもっとも多い。利用時間は18時まで。
- ・ついで、自宅を希望する人が多い。
- ・週1～2回、習い事に行かせたい親もいる。

問 22 お子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいですか。

- ・自宅で過ごさせたい親がもっとも多い。学童利用希望は低学年時より減少。（時間は18時まで）
- ・習い事に行かせたい親が低学年時より増える。

問 23 問 21 または問 22 で学童を選択した方いかがいます。土日、祝日に学童の利用希望はありますか。

- ・全体的に、利用する必要はないと答える人がもっとも多い。

(1) 土曜日

- ・低学年時の利用希望が多い。利用時間は9時から17～18時。

(2) 日曜・祝日

- ・低学年時の利用希望が多い。利用時間は8～9時から16～18時。

問 24 お子さんの長期休暇期間中、学童の利用希望はありますか。

- ・利用する必要はないと答える人がもっとも多い。
- ・低学年時の利用希望が多い。利用時間は8～9時から17～18時。

問 25 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。取得していない方は理由をお答えください。

- ・父親：取得していない父親がほとんど。理由は、『配偶者の育休取得』がもっとも多く、『仕事が忙しい』が次に多い。
- ・母親：育休を取得した親がもっとも多い。取得しなかった理由は、『子育てや家事に専念するために退職した』が多く、次に『育休を取得できることを知らなかった』、『職場に育休の制度がなかった』が続く。

問 25-1 問 25 で取得したと答えた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

- ・就園児：育休取得後、職場に復帰した人がもっとも多い。
- ・未就園児：現在も、育休中の人が多い。

問 25-2 問 25-1 で職場に復帰したと答えた方にうかがいます。復帰したいちばんの理由はなんですか。

- ・父親：育児休業期間が終了したから
- ・母親：育児休業期間が終了したから。母親は父親に比べて『生計のため』に復帰した親が増加。

問 25-3 問 25-1 で職場に復帰したと答えた方にうかがいます。育児休業取得期間はどれくらいでしたか。

- ・父親：半年未満
- ・母親：半年以上1年未満がもっとも多く、次に1年以上2年未満

問 26 お子さんが通う幼稚園や保育所、認定こども園などを選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。

- ・自宅の近く
- ・園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい
- ・子どもが将来通う小学校のある居住地区内にある
- ・兄弟姉妹が通っている

問 27 公立保育所の民営化についてどうお考えですか。

- ・分からないが多くを占める。
- ・賛成、反対は同数程度。

問 27-1 民営化にあたり、どういった条件が整えば民営化してもよいと思いますか。

- ・保育士の数を増員し、できるだけ家庭的なきめの細かい保育を行う
- ・保育士研修の充実や経験豊富な保育士の配置など、保育士の質の確保・向上を図る
- ・延長保育、低年齢児保育、一時預かりなどのサービスを充実する

問 28 市では、園児数が10人以下の園は休園を検討しています。園児減少に伴う公立保育園の閉園についてどうお考えですか。

- ・賛成、反対は同数程度。

問 28-1 反対される理由は何ですか。

- ・自宅から近い保育所がなくなるのは不便だから
- ・小規模保育所ならではのアットホームな雰囲気が好きだから
- ・少人数の方が手厚い保育を受けられそうだから

問 29 産後ケア事業の内容について、あったらいいと思うものをお答えください。

- ・母乳マッサージ
- ・授乳に関する指導、その他の育児指導
- ・産婦のレスパイト（休息）的な利用

問 30 保育園に預けていないお子さんを子育てしていたときの悩みは何ですか。

- ・子どもの成長発育について
- ・母乳や離乳食等について
- ・子どもの遊び場について

問 31 市内の屋内の親子が一緒に遊ぶ場に関して、満足していますか。

- ・満足していない人が多い。

問 32 屋内の親子が一緒に遊ぶ場について、どのようなことが重要であると思いますか。

- ・体を使って遊ぶ遊具が充実している
- ・日曜や祝日も利用することができる
- ・思い切り遊ぶために十分な広さがある

問 33 児童センターを利用したことがありますか。

- ・利用したことがある人が多い。

問 33-1 日曜日や祝日に児童センターを利用したいですか。

- ・利用したい親が多い。

問 34 ファミリー・サポート・センターを利用したことがありますか。

- ・ほとんどが利用したことがない。

問 34-1 問 34 で利用したことがあると答えた方にうかがいます。ファミリー・サポート・センターの援助内容や利用時間、利用料金について、要望はありますか。

- ・「料金設定はもう少し細かく、援助内容も増やしていただきたいです。」

問 34-2 問 34 で利用したことがないと答えた方にうかがいます。利用したことがない理由は何ですか。

- ・特に利用する必要がない
- ・制度を知らなかった
- ・他人に預けることに抵抗がある

問 35 子どもを健やかに育むため、地域で必要だと思う取り組みはなんですか。

- ・地域内での子どもの安全を確保するための活動をする
- ・文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす教育を強化する
- ・地域の歴史や文化、自然を体験したり、学ぶ機会を増やしたりする

問 36 住まいの地区における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

- ・普通（3）に○をされる方が多数。

○小学生

問 8 気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）？

- ・ほとんどがあると回答。

問 8-1 それは誰（どこ）ですか？

- ・祖父母等親族が多数、次に多いのが友人・知人
- ・学校の先生、医師、児童センター等も

※ほとんどの家庭には気軽に相談できる人がおり、祖父母等親族と友人・知人が大半を占めている。核家族が増える中、結果としては良好と思われる。しかし、「いない」と回答した家庭を見逃すことはできない。児童センター等がその役割を担うことが出来るように市としては努力することが大切である。

問 10 学童の利用

- ・利用していない人が多い。
- ・利用者の保護者はほとんど「大変満足」「ほぼ満足」と回答している。
- ・6年生を含めたため利用率は下がったと思われる。全体ではもう少し利用率上がるのでは。

問 11 学童が4～6年まで可能となった場合利用したいか？

- ・利用したい人が多い。
- ・利用したい人の中でも週5利用が多い。

※施設の規模や職員数の関係上、難しいと思われるがニーズはますます高まるだろう。

問 15 子どもを健やかに育むため、地域で必要だと思う取組はなんですか？

・「地域内での子どもの安全を確保するための活動」がもっとも多い。次いで「地域の歴史や文化、自然体験、学ぶ機会を増やす」、「地域の人たちも必要に応じて子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える」。

※未就学児と回答が類似。

※地域とのつながりを要望する家庭が多い。

問 16 自由記述

- ・児童センターや学童への感謝が多かった。
- ・子どもが遊べる施設(児童館)の要望もいくつかあった。
- ・「エアコンの設置(既に決定)」、「登下校の安全」、「街灯の設置」「病児保育の充実」

○中学生

問 4 相談できる相手

- ・相手はある。多くが、家族や友人

問 5 放課後はどこで過ごしているか。

- ・放課後は自宅か部活動をしている。

問 6 放課後学習教室を利用したことがあるか。

- ・少ない。→部活動、習い事等があるためという理由多数。
- ・部活動の後にできたら行けるのにと声も。

問 9 自由記述

- ・グラウンドに照明をつけること(部活のため)
- ・街灯がほしいという声多数。(下校時の道路が暗くて怖い)